

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)

2012年3月度理事会 議事録

■開催日時 2012年3月13日(火)14:00~18:30

■開催場所 HFW 事務所

■役員総数 10名(理事8名、監事2名)

■出席者数 7名

齊藤恵一郎理事長、関口和孝理事、原田麻里子理事、渡瀬のり子理事、渡邊清孝理事兼事務局長、上島鋭一監事、矢崎芽生監事

(委任状提出)

2名

星野直副理事長、犬島由香里理事

■議事

1. 開会(司会:渡邊事務局長)

2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)

3. 議事録署名人の選出

齊藤理事長の任命で、関口理事、渡邊理事・事務局長が選出された。

4. 理事長挨拶

5. 議事

【審議事項】

◎1)2012年度事業計画・予算

事務局長より資料①の議案が上程され、次の3点を別途協議・調整し、6月理事会で再度審議する事を付帯条件として承認された。

1. オランダ出張企画書の提出、並びにVTR製作費50万円を計上する
2. 開発部長・アドボカシー担当職員の組織全体・各業務・他職員とのレベル感を理解できるような提案、並びに担当理事との調整を行う
3. 予備費の目的の明確化、国内管理費の事業費、人件費、運営費を表記する

なお、原田理事より、寄付収入に占める回収キャンペーンの高い依存度のリスクヘッジを考察する必要性が述べられ、事務局でも念頭に今後の資金調達の方角性を練っていることが確認された。

◎2)震災対応規程

事務局長より資料①の議案が上程され、正・副理事長の権限が発揮されない場合、他の理事の権限順位を盛り込むことを付帯条件とし承認された。なお、本件に知見のある人材がいる場合、規程へのアドバイスをもらいことと、定期的に規程を見直し必要に応じて改定することが確認された。

◎3)給与見直し

事務局長より資料③の議案が上程され、支部職員の本格的な待遇改善がされていない点と、回収キャンペーンの増収予測に対するリスクヘッジの観点から、初年度は基本年俸の9割がけでスタートすることが可決された。

【報告事項】

◎4)財務

渡邊事務局長より資料④の報告がされた。配布された資料の次年度繰越金が12年度予算に記載され

る前年度繰越金が異なっていたため、修正した。ウガンダ担当職員の吉田より資料③-2、ベナン・ブルキナファソ担当職員の土橋より資料③-3,4、国内事業担当職員の儘田より資料③-5、YEH 事務局の尾本氏より資料③-6 の報告がされた。

◎5) 会員・ひとつぶ募金拡大現状

渡邊事務局長より資料⑤の報告がされた。

◎6) 支部・YEH 各国・国内活動

渡邊事務局長より資料⑥-1、ウガンダ担当職員の吉田より資料⑥-2、ベナン・ブルキナファソ担当職員の土橋より資料⑥-3,4、国内事業担当職員の儘田より資料⑥-5、渡邊事務局長より資料⑥-6 の報告がされた。バングラ出張時の子ども帯同の件について、子どもにかかる費用の 20%を支払うことへの異見、帯同そのものの危険性について意見が出され、原則、子ども帯同の出張は取りやめることが可決された。加えて、ベナンでの事業展開が HFW の開発ガイドラインの規定によって弊害を被ることについて、次回理事会で同ガイドラインの改定の必要性について討議することになった。

◎7) 労務環境状況


関口理事より資料⑦の報告がされた。2010 年度と比較し労働時間の削減に繋がっている理由が尋ねられ、渡邊事務局長より、田中次長が入職し業務の最適化を図った結果、業務が効率化したことと、アドボカシー事業担当者不在によるアドボカシー業務の時間が予想より発生していないことが説明された。

◎8) スローガン・キャッチフレーズ

原田理事より理事・スタッフ ML で審議された議案の再確認がされた。

2012 年 5 月 31 日

議長

齋藤 忠一郎 

議事録署名人

関口 和孝 

同 渡邊 清孝 